

矯正装置は、歯の裏側から装着OK！

進歩する歯列矯正技術

シリーズ・歯の健康相談

ほりい矯正歯科クリニック・堀井和宏さん



「歯並びだけでなく、口元の様子が改善する」という側面もあって、大人にも興味が高まっている「歯列矯正」。子供でないと無理と思われていた治療が20歳を過ぎても可能なことが広く知られ、最近では特に30代から始める人も増えたとか。ただ、「見た目が気になるし、歯の表側に装置は着けたくないな…」と、二の足を踏んでいる人も多いようです。

そこで今回は、装置は外からほとんど見えない矯正治療について、ほりい矯正歯科クリニックの堀井和宏さんに詳しく聞きました。



治療前



治療後

歯の位置を動かして良 ともない、白いセラミックスよ。いかみ合わせや理想的な ク製などの目立たない装置を表側に着けるより、前歯の角度を作っていく 置を裏側に矯正装置を、ことで、口元の形を整え 歯の裏側に矯正装置を、る効果も期待できる、と と希望する人が20〜30代 という矯正治療。 を中心に増えました。

今、治療を受ける大人 歯の裏側に矯正用のマ ルチブラケット装置を装着する方法は、表側とほぼ同じ治療が可能。技術の進歩はかなりのもので

な点もあります。 治療できないケースはありますか？

―著しい受け口など、下の歯がもともとかなり内側に傾いている場合、裏側からの治療はできません。下の歯を治療前よりさらに内側に傾ける必要があるので、治療が進むにつれて、ワイヤの調整や交換が不可能になることがあるからです。

このようなケースでは、「上の歯は裏側、下の歯は表側」と装着する位置を変えたりします。

一般的に、下の歯なら話したり笑ったりした時でも見えにくいですが、料金は割高ですか

―裏側からの治療は、やはり特別な装置と技術が必要。表側の場合と比較すると、1・2〜1・5倍程度になります。

日常生活で気をつけることはありますか

―違和感や話にくさは、装着後1〜4週間もすれば慣れるようですよ。また装置の手入れは、表側に装着した場合と同様、しっかりブラッシングすること。ただ裏側だけに、普通の鏡では装置周辺の汚れを確認するのはなかなかむずかしい。

小さな手鏡や歯ごうの染め出しグッズ(液剤、タブレット、ペーストタイプなど)を積極的に使いつつ、さらに数種類の歯ブラシを使い分けてケアすることが大切です。



上顎前突の歯の裏側に装置を装着、治療は1年8カ月で終了